

【優秀演題賞(旧:学術奨励賞)受賞記録】→2012年度より優秀演題賞に名称変更

	氏名	所属	備考
2024年度(令和六年)	垣淵 晃代	京都府立医科大学大学院 医学研究科	エストロゲンの粥腫形成に及ぼす影響～動脈硬化マウスモデルを用いて～
	日高 志穂	東京科学大学 医歯学総合研究科 生殖機能協関学	シナプタミドの受容体であるGPR110は破骨細胞に発現し、破骨細胞分化を抑制的に制御している
2023年度(令和五年)	辻 俊一郎	滋賀医科大学 産科学婦人科学講座	本邦における分娩様式がその後の妊孕能や月経困難症の有無に与える影響
	茂呂 徹	東京大学 大学院医学系研究科 関節機能再建学講座/東京大学 大学院医学系研究科 整形外科/東京大学 次世代知能科学研究センター	1枚の胸部正面X画像データのみから腰椎及び大腿骨近位部の骨密度推定値を演算するAI骨粗鬆症診断補助システム
2022年度(令和四年)	武田 卓	近畿大学 東洋医学研究所	月経前症候群と腸内細菌叢との関連性検討
	池田 裕美枝	京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻健康情報学分野	LEP開始後に心身症状が悪化する患者の頻度・特性、予測可能性
2021年度(令和三年)	熊谷 麻子	順天堂大学 産婦人科	エストロゲン欠乏下において、マグネシウム欠乏は遺伝的に定められたCOMT活性と相互作用し、塩分感受性高血圧を惹起する
	八木 太郎	大阪大学医学部 産婦人科	睡眠時脳波に着目した新型パッチ式計測シートによる更年期障害診断装置の開発
2020年度(令和2年)	小野 政徳	金沢大学 産婦人科	若年成人期の月経困難症は将来の妊娠高血圧症候群罹患と関連する
	富田 真紀子	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター	地域在住中高年女性のホットフラッシュと不眠症状および抑うつ傾向の関連:老化に関する長期縦断疫学研究(NILS-LSA)から
	金谷 真由子	東京大学医学部附属病院/フェニックスアーククリニック	重症子宮内膜症患者におけるQOLの評価と経済損失
2019年度(令和元年)	齊藤 真	横浜市立大学附属市民総合医療センター	Turner症候群のHRT開始年齢が骨強度に与える影響 ～骨密度とTrabecular bone score (TBS)による横断研究～
	西村 和朗	産業医科大学医学部産婦人科	ラット視床下部におけるエストロゲン依存的オキシトシンの変動
	林 孝典	藤田医科大学医学部生化学	神経内エストロゲンが生理作用に与える影響に対する研究
2018年度(平成30年度)	太田 郁子	倉敷平成病院	TSEC(組織選択性エストロゲン複合薬)の奏効率評価法の検討 —周閉経期のTRACP-5b/BAP比(T/B ratio)のカットオフ値から—
	田村 博史	山口大学大学院 産科婦人科	メラトニンの卵巣加齢に対する予防効果および投与開始時期の検討
	江川 美穂	京都大学医学部 産科婦人科	健康女性における月経周期に伴う脳血流変動のfMRI解析—パイロット研究—
平成29年度(2017年)	小林 佑介	慶應義塾大学 医学部 産婦人科学教室	メバロン酸経路を標的とした卵巣癌発癌予防を目指した基礎的研究
	二井 章太	愛知医科大学 医学部 産婦人科	子宮内膜症のホルモン治療において男性ホルモン作用は脂質代謝に悪影響を及ぼす ～LEPの合成プロゲステロンに注目して～
	岩佐 武	徳島大学 大学院医歯薬学研究部 産科婦人科学分野	雌ラットにおいてテストステロンが体重・摂食量・脂肪量に及ぼす影響はエストロゲン環境により著しく変化する
平成28年度(2016年)	川島 知子	国立保健医療科学院 国際協力研究部	女性の健康度評価と関連する社会経済要因について—国民生活基礎調査分析より—
	伊藤 文武	京都府立医科大学大学院 女性生涯医科学	CEEに含まれるequilinはNF- κ B活性化経路を介して動脈硬化リスクとなる
	山口 歩実	東京医科歯科大学生殖機能協関学	γ -oryzanolによるラット尾動脈のPG産生を介する機能制御
平成27年度(2015年)	飯田 美穂	慶應義塾大学病院 産婦人科	閉経後女性におけるメタボリック症候群の血漿メタボローム解析:鶴岡メタボロームコホート研究
	飯塚 真	東京医科歯科大学 産婦人科	米糠成分の更年期モデルラットにおける血管内皮機能に与える影響
平成26年度(2014年)	善方 裕美	横浜市立大学 産婦人科	妊娠授乳期の血中25-OH-vitamin D 濃度と母体骨密度の関係 —SKY(Sakado, Kobe, Yokohama)pregnant cohort study より—
	成味 恵	山形大学医学部産科婦人科	閉経後女性の内臓脂肪における脂肪細胞サイズと酸化ストレス
	北島 百合子	長崎大学医学部産科婦人科学教室	エストロゲン欠乏が骨格筋の生理機能に与える影響に関する基礎的研究
平成25年度(2013年)	寺内 公一	東京医科歯科大学女性健康医学講座	The effects of grape seed extract proanthocyanidin on menopausal symptoms
	平光 史朗	東京医科歯科大学周産・女性診療科	The effects of Dickkopf-4 on the proliferation, differentiation, and apoptosis of osteoblasts

	氏名	所属	備考
平成24年度(2012年)	太田 邦明	東邦大学医療センター大森病院	酸化ストレスは女性生殖機能を加齢させる
	渡辺 綾子	大阪医科大学産婦人科	婦人科悪性腫瘍に対する抗癌剤治療が動脈硬化へ及ぼす影響とフィブラートの予防効果について
平成23年度(2011年)	平光 史朗	東京医科歯科大学周産・女性診療科	閉経後骨粗鬆症と血中Dickkopf濃度の関係について
	伊東 雅子	藤田保健衛生大学医学部産婦人科	アロマトーゼノックアウトマウスを用いた肥満関連遺伝子の検討
平成22年度(2010年)	須賀 万智	東京慈恵会病院医科大学 環境保健医学講座	地域在住60歳女性における更年期症状と更年期障害の自覚
	飯野 香理	弘前大学医学部産科婦人科	一般住民を対象とした集団検診におけるFRAXの検討
平成21年度(2009年)	寺内 公一	東京医科歯科大学周産・女性診療科	更年期女性の不眠症治療に関する検討
	松井 寿美佳	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部	閉経期女性においてNT-proBNPは性ホルモン結合グロブリンと相関する
平成20年度(2008年)	高嶺 智子	東京医科歯科大学 周産女性科	更年期女性のうつ症状に対するホルモン補充療法(HRT)の有効性の検討
	郷戸 千賀子	新潟大学大学院医歯学総合研究科 産科婦人科学教室	エストロゲン受容体遺伝子コピー数多型(Copy Number Variation (CNV))と腰椎骨密度の関連性
平成19年度(2007年)	小川真理子	東京歯科大学市川総合病院 産婦人科	更年期外来における不安障害の検討
	江本 智子	山口大学大学院医学系研究科産科婦人科学	中高年肥満女性に特異的な耐糖能障害発症因子の同定と生活習慣介入効果の検討
平成18年度(2006年)	上村 浩一	徳島大学大学院女性医学分野	閉経後婦人の血中osteoprotegerin濃度と心血管病変の危険因子との関係の検討
	河野 稔明	東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻精神医学分野1	GnRHアナログ療法に伴ううつ症状と認知課題中の前頭葉酸化ヘモグロビン濃度変化との関連
平成17年度(2005年)	保科 有紀	金沢大学大学院医学系研究科産婦人科学	卵巣摘出ラットのストレス誘発性認知障害に対するラロキシフェンの効果
	石原 広章	京都府立医科大学大学院女性生涯医科学	プロゲステロンによるヒト臍帯静脈内皮細胞(HUVEC)への単球接着促進-in vitro flow system を用いた検討
平成16年度(2004年)	古賀 祐子	亀田総合病院産婦人科	更年期女性における性交障害の実態とHRTの効果
	永田 寛	新潟大学産科婦人科学教室	産褥骨密度健診の有用性の検討 -分娩5-10年後の骨密度の推移-
平成15年度(2003年)	岡野 浩哉	東京女子医科大学産婦人科学教室	産婦人科における、骨粗鬆症患者および骨量減少者の特性とその治療法
	松原 健二	東京医科歯科大学産科婦人科	脈波速度を指標とした加齢やHRTによる動脈硬化性変化に関する検討
平成14年度(2002年)	永田 英明	九州大学大学院生殖病態生理学	ホルモン補充療法における心血管疾患予防効果の検討 - 投与方法における hs-CRPとTC/HDLの比較 -
	高田 幸宏	雪印乳業株式会社技術研究所	乳塩基性タンパク質(MBP)のヒトにおける骨密度増加および骨代謝改善効果
平成13年度(2001年)	柴田 みち	聖マリアンナ医科大学病院栄養部	更年期外来患者における不定愁訴と栄養摂取状況の関係について
	茶木 修	横浜市立大学産婦人科	骨代謝マーカーの変動による閉経後骨粗鬆症の治療効果判定
平成12年度(2000年)	真田 光博	広島大学産婦人科	
	藤澤 秀年	京都府立医科大学産婦人科	
	柳本 茂久	慶應義塾大学産婦人科	
平成11年度(1999年)	—		受賞者なし
平成10年度(1998年)			